



男と女のいきいきコラム



男女共同参画社会の実現を目指して VOL.75

今月からは、市に寄せられた「土岐市の男女共同参画について」の意
見をお届けします。

「男女共同参画」について

内山 眞由美さん

平成16年度に土岐市男女共同参画プランが策定され、さまざまな事業が進められています。このプランは10年間を計画期間としていますが、期間の後半に入った今、世の中は変わってきたでしょうか？

全体的には、確かに変化しつつあるのではないのでしょうか。職場や職種の中で、今や「性差による差別」は格段に変わったと思います。

では、家庭や地域ではどうでしょうか。「個人の人權尊重、平等意識、個性の尊重」などは当然のことですが、最近「何かチョット変だな」と感じるものが、連日のようにテレビや新聞で伝えられる事件です。

児童虐待や自分の家族の命を奪う事件、また、高齢者の所在不明問題などは、性差による差別以前に、人として根深い部分に問題があるのではないかと思わずにいられないことばかりです。

男女共同参画が目指す社会の実現により、男女の性差による差別がな

くなくても、人間としての尊厳が大切にされなければ、元も子もないのではないのでしょうか。

地域、隣近所そして家庭内においても「人と人とのつながり」が希薄になっている今、男女共同参画事業を進める中で、「個の尊重」とともに「他の尊重」「人と人との連帯」についても考えていく必要があるのではないかと思います。

具体的には、私たちの家庭のレベルから家族について考えたり、地域の伝統や行事に興味を持つこと、何よりも私たち人間だけに与えられた「会話」という力を使い、良い人間関係をつくることを大事にしたいと思います。

性の違いより前に、同じ人として、誰もが平等で明るく楽しく暮らせる日々が実現する社会になればよいと思います。



しょうぼう119



住宅火災から大切な生命を守るために、
住宅用火災警報器を設置してください

消防本部・☎0123

家庭で起きる火災の消火方法

皆さんも普段の生活で火を扱うことが多いと思います。料理をするとき、また、寒くなるこれからの時期は暖房機器を使います。

今回は、家庭で起きる火災の中で特に多い、天ぷら鍋の油と、石油ストーブによる火災の初期対応を紹介します。

◆天ぷら鍋の油が燃え出したら

- ・消火器や天ぷら油火災用の消火用具を使用する。
- ・速やかにガス栓を止める。
- ・鍋にきっちり合うフタがあれば、手前から炎を押さえるようにフタをする。
- ・消火器がないときは、鍋の口より大きなふきんや厚い布を、水滴が落ちない程度に水でぬらして、手前から鍋全体を覆うようにかぶせる。

★ここに注意！

- ・火が消えても油が冷えるまでそのままにしておく。
- ・絶対に水を掛けない（炎が大きくなります）。

◆石油ストーブから火が出たら

- ・消火器を使用する。消火器がないときは、ぬれたシーツを上から覆うようにかぶせる。
- ・大きなバケツ1杯分くらいの水を、勢いよく一気に掛ける。

★ここに注意！

- ・石油ストーブを使用する前に、ストーブの耐震自動消火装置が故障していないか、ロックしたままになっていないかを確認しましょう。

※火の勢いが強くて近付けない場合は、すぐに消防署に119番通報をしてください。

また、家族やご近所の方にも火災が発生したことを知らせて避難してください。